

絶対的同時性と現在に関するデカルト的洞察

佐金 武

要旨

特殊相対性理論 (STR) によれば、何が何と同時であるかは観察者やその運動状態と相対的であり、絶対的同時性という考えに居場所はない。他方、現在と存在を同一視する現在主義において、何かがあることは、それが存在することと同じく絶対的な事実であり、それゆえ、「ともに現在である (ともに存在する)」ことによって規定される絶対的同時性は保持されねばならない。現在主義ははたして、経験的に確証された STR と矛盾するのだろうか。本発表では、現在主義から帰結する絶対的同時性が STR (少なくとも、純粋な科学理論としての STR) と矛盾しないことを論じる。そのうえで、少なくとも何かがある (存在する) という現在に関するデカルト的洞察にもとづき、絶対的同時性の考えを可能な限り擁護する。